

平成27年11月
号外(に)



山家神社社務所
sanadashrine.com/yamaga
〒386-2201 上田市真田町長 4473
Tel.0268(72)5700

山家 慎閑

山家郷塾理念

一、自然の恵みと祖先の恩に感謝し、日々お蔭さまの心を以て郷生の道を歩むこと
一、地域の歴史・文化・伝統を学び考へ今を照らし、故郷の振興と再生を図ること
一、永遠と続く歴史の中にある今を認識し、祖先から受け継いだモノを守り伝えること

まつり

毎年この時期になりますと新しいお神札を配布し新年を迎える準備をしていきます。お忙しい中にあつても地域の歴史文化財でもある神社の護持にご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

最近は大河ドラマ「真田丸」に向けて色々調べておりますが、その中で感じていることに、語られなくなったものへの伝えられなくなったものへの想いがあります。

このまま掘り起さないでいたら永遠と分からなくなってしまうのではないかという歴史、人と人とのつながり、四季折々の自然との付き合い方。そういったものをご先祖様達は神社や祭、風習などあれば伝えていけると考えていたのかも知れません。地域を見つめ直し、伝えるべきものは伝えていく為にも行動を開始していきます。ご指導ご助言よろしくお願ひします。 恥書き 押森 慎

大黒様と恵比寿様

若い方には知らない方もいれば、そういえばいつも家に飾ってあるなあという方もいるかと思ひます。我家では神棚と台所にお祀りしております。各地域各家庭によってそのおまつりの仕方は様々ですが真田町誌や古老の話を参考にここで一度記録として残したいと思ひます。知っていること等教えて下さい。

◎お財布を供える!?

十一月二十日は恵比寿講の日と云われ、家々では秋の取り入れもこの日までには全部済ませたいと思ひ、農作業の一年の節目として仕事に精を出したようです。恵比寿大黒さまは農家にとつては農作の神

楽人和人 じんじんわらく

えびすさま



だいこくさま



であり、十一月二十日は神様が帰られる日なので新米にお頭つきのさんまを供えて祝ったといひます。もちろん商屋にとつては福をもたらす商売繁盛のありがたい神様です。財布を枡に入れて恵比寿大黒さまにお供えし、一年間これだけ稼げましたという感謝の報告と、益々このお金を殖やして下さいという願いを込めたところもあつたようです。まずは感謝が大切そうですね。

◎台所の神様でもあるの?

恵比寿大黒さまは七福神としての意味合いが強く、日本の代表的な福神さまです。家運、商売、農業、漁業等を守護し、家運隆盛、商売繁盛、五穀豊穰を願ひ各家庭にておまつりされています。

中でも台所におまつりする家庭も多く見られます。これは生活の中心となる火所として台所には竈(かまど)があり、その煙が盛んにできることは家が栄えるしるしといわれているため、商売繁盛、家門弥栄の神様として火の使用を安全に見守る荒神(こうじん)さまと合わせておまつりをしています。

「水」や「火」など、時には荒ぶる人の力では抑えきれないものを、私たちは大切に守り、それにより恵みがもたらされ護られて生きてきました。神さま(自然)に守り護られ、共に和やかで楽しい生活をおくられること、幸せを祈る心が地域に広がりますことをご祈念致します。お神札は神社でも授与しております。



↑竈三柱神符

必要な方は社務所まで
(72) 5700